

YU-PAL

へっぽこ登山隊（第4弾）

へっぽこ登山隊今年第4弾はこの時期定番になりつつある仁頃山へGO！

佐呂間トンネルから見上げる山頂は青空だけど雲の動きが早く、この天気だと混みそうです。

幹線を折れダムに向かう道はザクザクのワダチでけっこうな台数が通ったらしく、ハンドルを取られながら駐車場にたどり着くと、キャンプ場横とその周りにはすでに5、6数台、管理車道にもすでに3台が先着していました。

1月の幌岩山以来すっかり足がナマってしまったメタボ隊員、出発してまもなく隊長、副隊長に遅れを取るがさも写真を撮っている振りでひたすら呼吸を整える、そのお陰で頭上いたエゾライチョウに気付く、最近数を減らしているけど昔父が獲ってきて食べた記憶がよみがえる「美味かった～」なぜか食欲だけは衰えない。

冬ルートはカーブをショートカットして直登するので息が上がり、おまけに前半は風が当たらないうえ日差しに照らされ暑い、7合目辺りから視界が開けると向かい風が一気に強まり汗だくの体が急速に冷やされます。

それでも山頂のアンテナが視界に入ると、手招きしているかのようにペースは上がり屋前には山頂に到着、晴れの山頂は気持ちがよく、サロマ湖や知床など遠くまで望め、冬場も除雪や雪洞など手入れの行き届いた山頂は強風でも快適でした。

帰りは少し余裕が出来たので西尾根を遠回りしてみること、風は強まる一方で雲もかかり始め小雪交じりに吹きつけ、ガリガリに締まった北斜面を慎重に下り、途中から奥新道コースへ入ると踏み後も目印も見当たらないので地図を見ながら進み、川を渡って駒の沢林道に出ると倒木の脇からプチ氷瀑が出現していました。

2013 年 3 月 23 日	北見市 仁 頃 山	標高 829m
--------------------	--------------	------------

天気	晴	往路	1 : 55	4 : 15
気温	-4℃	休憩	0 : 20	
風向	北西微強	復路	2 : 00	

